



(株) ドーコン 東北支店
野田 敬一

—初めて仙台に住んでみて—

早いもので私が妻と二人で、横浜から仙台に転勤してきて既に8カ月が経ちました。二人とも道産子なので寒さには慣れているのですが、4月の頭に仙台に着いた時はあまりの風の強さに辟易しました。特に今住んでいる長町地区は、職場のある仙台中心部に比べ風が強いと思います。転勤直前の関東は暑いくらいの気温が続いていて、桜もピークを過ぎて散っている最中だったのですが、仙台に着いてひと月程季節が逆戻りしたように感じた事を思い出します。なので今年は二回桜が見れるな、と思っていたのですが4月は殊の外忙しく、お花見もしない間に過ぎて行ってしまいました。来年はネットで調べて市内の桜の名所に行ってみようと思います。

さて、今まで出張では何度も仙台には来ていたのですが、仙台市のイベントは七夕以外は見た事はありませんでしたが、いざ来てみると色々なイベントが目白押しでした。

先ず5月に青葉祭り、これは伊達政宗没後350年(昭和60年)に復活した祭りで、武者行列、山鉦巡行、神輿渡御、すずめ踊り巡行が中心部のメインロードを練り歩く壮観な催しでした。

次に6月の全国餃子祭り in 仙台、私は仙台が餃子で有名とは知らなかったのが、最初



は???という感じでしたが、全国の9大餃子が揃い食べ比べが出来ると地元ニュース番組で言っていたので行って来ました。生憎、私の行った日は雨で、青空の下ゆっくりと味わう、という事は出来ませんでした。兎に角美味しかったです。



8月は仙台七夕まつり、皆さんご存知の東北6大夏祭りの一つです。アーケード街が人でごった返し、歩き辛いことこの上無い、というのが一番の印象でした。

9月には定禅寺ストリートジャズフェスティバルがありました。仙台に来る前に住んでいた

横浜では、山下公園や赤レンガ、みなとみらい地区等ではおちゅう屋外の音楽イベントが開かれていて気に入っていたので、同じようなイベントが仙台にもないか?と思い、引っ越してきて直ぐネットで調べて気になっていました。仙台市内の約50会場で2日間、昼頃から夕方まで色々なジャンル(歌謡曲のようなものから、ロック、スタンダードジャズ、フュージョン、ビッグバンドジャズ、ゴスペル等々)の演奏や歌が聞けます。個人的には、タイトル通りもっとジャズに徹した方が良いでしょうと思いますが・・・



また10月には、東北・みやぎ復興マラソンに参加してみました。夏の間の走り込みが出来なかったため記録的には不満足でしたが、一応完走出来たし、何と言っても沿道の名取・岩沼・亘理の方々の暖かい声援が嬉しかったです。通常のマラソン大会でも、沿道の方々の応援は励みになるのですが、この大会の沿道の方々の声援は感謝から始まるのです。例えば「来てくれてありがとうね。来年も来てね。」とか、「ここまで復興したよ、有難う。」等、こんな具合に。走りながら、胸にジーンと来るものがあった反面、もう気にしなくて良いのに、やはり未だ傷は癒えていないのだな、といった心配も感じました。



上記のような公式イベントの他に、6月には楽天ゴールデンイーグルスの試合観戦にも行きました。個人的に久しぶりのドーム以外の屋外のナイター観戦でしたが、その日は少し寒かったのでビールは一杯目だけで、その後ホットワインを飲みました。因みにプロ野球観戦でホットワインを飲んだのは

人生初です。今シーズンは負けまくっていた楽天もこの日は、岸投手の好投とアマダーのホームランで快勝した良い試合でした。9月には会社の仲間と広瀬川の河岸で芋煮会、10月には同じく会社の仲間と秋保温泉一泊旅行に行く等、今の所「仙台ライフ」を満喫しております。

これから冬を迎えるわけですが、12月には光のページェント等のイベントもある様で、一年通して楽しく過ごせたら良いな、と思っています。



最後に少しだけ真面目な話をします。下の写真は岩手県の梁川ダム施工現場の写真です。9月6日に水コン協東北支部が開催した現場見学会に私が参加し撮影した物です。県の建設事務所で説明を聞いた後、現地で実際に見ながら更に詳しく説明を聞きました。私は元々河川計画が専門なので、ダムには馴染みがあるのですが、施工中の現場はあまり来たことがありません。やはり図面で見ると、実際に目の当たりにするのでは印象（特にスケール感）が全然違います。日頃から部下や後輩には必ず一度は現地に行って、自分の目で確かめるようにと指導していた私ですが、今回改めて「見る」ことの大切さを痛感しました。特に今回の様な施工中の現場などは、得る知識が多く若い技術者には大変参考になると思いますので、今後同様の企画があった場合は是非各社の若手を参加させてみては如何でしょうか。

取り留めの無い話になってしまいましたが、これから水コン協東北支部ひいては業界全体を盛り上げていきたいと考えていますので、微力ではありますがお手伝いさせて頂きます。今後とも皆さま宜しくお願い致します。